

メキシコの貧困対策紹介

「転換期の新興国経済」
狐崎教授講演

経済学部国際経済学科 5月25日から7月6日まで
の公開講座「転換期の新興国経済」(全6回)が催された。第1回の「独
立ウズベキスタンの模
流れを説明した」写真。



立ウズベキスタンの模
流れを説明した「写真」。
33カ国に5億9000
万人を擁する中南米地域
では貧困層が3分の1を
占める。所得格差、少子
高年齢化、都市の治安悪
化、若者の高失業率とい
う四つの問題点は中国と
共通するが、特筆すべき
は所得格差が中南米では
はじめ各国に波及してい
るが、先生や教材が不足
し課題も多い。昨年度
日本ラテンアメリカ学会
理事長を務めた狐崎教授
は「東南アジアと教育レ
ベルの差は大きい。日本
に望まれているのはさら
なる教育分野への支援」
と締めくくった。

(CCT)を紹介。子
どもの就学率向上と栄養
改善のため貧困層の所得
を補てんするもので、通
学や保健所受診の度にス
タンプを押し、母親に毎
月少額の現金を渡す仕組
み。現金を使える自由が
母親の自尊心を育て、教
育への理解を生んでいる。

古文書解読に挑む

◆The 寺子屋11 初級・中級



公開講座 開講された「写真」。

「The 寺子屋」5月17日から6月21日
まで、全6回にわたって
中級「(エ)行われた初級講座は24人
が受講。西坂靖文学部教
授が「江戸の名所案内」
を、西澤美穂子文学部非
常勤講師が「江戸の情報
書き留め」を題材に、く
ずし字の判読方法など、
古文書の読み方を指導し
た。

が受講。瀬戸口龍一大学
史資料課長が「古文書か
ら見る江戸時代の武蔵と
相模」、新井勝純文学部
教授が「近代の日記・手
紙・記録を読む」をテー
マに講演した。
新井教授は、研究途上
で出会った竹橋事件や西
南戦争について書かれた
日記をテキスト代わり
に、講座を展開。「比
は「ころ」と読みます」
などの読み方の指導に加
え、地図や研究資料を提
示し、時代背景について
も解説を加えた。
最後に「難しい文書を
持ち込みましたが、今後
もこういったものの解説
に挑戦し、古文書の醍醐
味に触れてほしい」と受
講生に語りかけた。

日本最古の平仮名発見

発掘調査の全貌 ●「人文研」で報告会



▲ 藤原良相遺構
発掘調査の詳細
な報告を聴く
▲ 解説をする京
都市埋蔵文化財研
究所の丸川氏

平安時代前期の有力貴
族、藤原良相(813〜
867)の邸宅跡から出
らなされた。人文科学
研究所(所長 小山利彦
氏)、昨年11月「最古級
の平仮名発見」と大きく
報道された発掘調査の全
日、京都市埋蔵文化財研

究所統括主任の丸川義広
氏を招いて公開講座を開
催。発掘責任者による詳
細な報告と考察に、研究
者や歴史ファンら約15
0人が息をのんだ。
調査は2011年、大
学のキャンパス建設に伴
いJR二条駅のすぐ西
(京都市中京区西ノ京)
で実施。平安京の「右京
三条一坊六町」の北東部

丸川氏は「最大の不思議
にあたり、9世紀後半の
地層から池の跡、建物の
遺構、平仮名や漢字が墨
書された土器約90点、高
級陶磁器、毛抜きや火箸
の金属製品など多数の遺
物が出土した。

丸川氏は「最大の不思議
にあたり、9世紀後半の
地層から池の跡、建物の
遺構、平仮名や漢字が墨
書された土器約90点、高
級陶磁器、毛抜きや火箸
の金属製品など多数の遺
物が出土した。
平仮名の成立時期が9
世紀後半まで50年さかの
ぼったうえ、さらには下
の9世紀前半の地層からは
万葉仮名が記された檜扇
や木簡が出土。漢字から
万葉仮名、草仮名、平仮
名へと続く文字史料がす
べて見つかるという貴重
な成果を上げた。
右大臣を務めた藤原良
相は、摂関政治の幕を開
けた藤原良房の弟。『日
華の証』以外のものを読
み取る努力が必要」と結
んだ。

丸川氏は「最大の不思議
にあたり、9世紀後半の
地層から池の跡、建物の
遺構、平仮名や漢字が墨
書された土器約90点、高
級陶磁器、毛抜きや火箸
の金属製品など多数の遺
物が出土した。

公開講座

7、8月の予定

- 専修大学 専修大学松戸
校 中学校・高等学校主催
▽日時 7月21日(日)
13時〜15時 会場 生田サテ
ライトキャンパス▽講師
丸川名和 専修大学兼任講師
11・1347
- 社会知性フォーラム
▽日時 7月21日(日)
13時〜15時 会場 生田サテ
ライトキャンパス▽講師
丸川名和 専修大学兼任講師
11・1347
- 社会知性開発研究セン
ター主催国際カンファ
レンス「東アジアの社会
関係資本を探る」コミュ
ニティ、社会的信頼、セ
ンパス731教室▽講師
渡辺達朗 商学部教授
秋原ひとみ氏(株ホテル
精養軒代表取締役社長)
東京信用保証協会経営
支援部経営支援統括課
03・3272・2276
- 社会知性開発研究セン
ター主催国際カンファ
レンス「東アジアの社会
関係資本を探る」コミュ
ニティ、社会的信頼、セ
ンパス731教室▽講師
渡辺達朗 商学部教授
秋原ひとみ氏(株ホテル
精養軒代表取締役社長)
東京信用保証協会経営
支援部経営支援統括課
03・3272・2276

シルクロードの学生と交流 佐竹教授が講演



6月8日、立正大学大
崎キャンパスでユーラシ
ア研究所主催セミナー
「当世シルクロード若者
気質」学生交流を通して
」が開かれた。
本学の今井雅和経営学
部教授(同研究所運営委
員)が司会を務め、会員
ら約30人が参加するな
か、本学の佐竹弘靖ネッ
トワーク情報学部教授
が、中央アジアの国々を
訪れ学生交流を行ってい
る佐竹ゼミの活動につ
いて報告を行った。
同ゼミは「シルクロ
ードを歩く」をテーマとし
た教養ゼミ。現地の学生
との交流を目的に、20年
間で約15カ国を訪問して
きた。本紙512号既
報。

佐竹教授は「ゼミ生は
訪問に向けて、その国の
歴史や風土などを丹念に
調査・研究する。訪問先は
日本語学などで日本語
を学ぶ学生を選んでい
る。相手の学生にとっ
ては現代の若者(こぼ)は
を話す学生と直接触れ合
う機会となる」と双方の
メリットを解説。トルク
メニスタンやアルメニア
での交流の様子をスライ
ドや動画で紹介し、交流
を経験した学生が社会に
出て、日本と中央アジア
の国々との友好が深まれ
ばうれしい」と結んだ。
＊ユーラシア研究所
ユーラシア地域に関心を
持つ各分野の研究者と市
民をつなぎ、同地域につ
いての冷静でバランスの
取れた認識を共有するこ
とを目的とした機関。

奥瀬喜之商
学部教授「写
真」の研究
「フードサー
ビスにおける価格設定に
関する実証研究」が、日
本フードサービス学会よ
り第10回研究助成に採択
された。